

FUJIEDA ROTARY CLUB
Weekly Bulletin

事務局：藤枝市青木1-9-16 TEL 054-647-2300 FAX 054-647-2040
例会：毎週水曜日 小杉苑 藤枝市青木2-2-48 TEL 054-641-3321

会長：鈴木廣利 副会長：桜井富郎 幹事：松葉隆夫 副幹事：後藤 功

第1630回

<ソング> 四つのテスト
<ソングリーダー> 松葉 義之君



2005-2006年度 RIテーマ

超我の奉仕

カール・ヴィルヘルム・ステンハマー



ゆり

写真提供：桜井 龍太君

会長挨拶

鈴木 廣利君

今日はクラブ協議会の2日目です。前回今年度の方針行事計画を発表しなかった委員会の委員長の皆さんに具体的な実行計画などを報告願いたいと思います。

又本日は榛南ロータリークラブの笠原会長がおいでになっておりますので後程ご挨拶を賜りたいと思います。

さて、ご存知の方もいると思いますが、この5月に経営不振におちいったダイエーの顧問から会長兼CEO(最高経営責任者)に就任した林文子さんの事をお話します。

これは日経ビジネスの6月13日号に掲載された記事です。「あなたほんとうに素晴らしい。とても制服がお似合いよ。みんなに云われるでしょう。素敵ねえ」昨年12月21日、女性経営者の講演の後立ち寄った帝国ホテルのラウンジで林文子はウェイトレスにこう話しかけた。1時間たっぷりの講演と懇談会でくたくたの状態なのに自然に思いやりの言葉があふれる。

ウェイトレスの女性は顔を赤らめ「そんな事云われたの初めてです」とうれしそう。まるでスキップするかのようにその場を立ち去った。隣で見ているウェイトレスの女性の今日一日は輝くものになるだろうとわかる。そして更にいつでもそのような言葉を掛ける事の出来る林文子に改めて感激する。

「私ね、どこに行ってもそこで社員教育しちゃうのよ。お料理をほめたり、サービスをほめたり、

感謝の気持ちを言葉にするの。」林はいつでもどこでも人の心にくい込む。しかもそれは自然で温かい。東京都立青山高校卒業後、松下電器産業でコピーやお茶くみと云った昔ながらのOLを経験した。結婚をして家にいたある日、ホンダのセールスマンがやってきた。話を聞いているうちに、自分も車がすき、人が好き、話が好き、それなら自分でも車のセールス出来るんじゃないかと思い、後にホンダの販売店の門をたたく。「私を営業に雇ってください。」女性のセールスはいない時代だった。当然のことながら断られた。しかしあきらめぬ林ではなかった。粘って粘って何とか「外回りなら」という条件付で受け入れてもらったのが31才の時で、最初は飛び込みセールスで1日100件を目標に歩き続けた。

ドアを開けてくれない家、今忙しいからとケンもホロ口に断る家、いろんな家を夜真っ暗になるまで訪問した。そんな中「また来たの、熱心だね」と云ってくれる人も出始める。「お茶でも飲んでいたら」と家に上げてくれる人も出た。

赤ちゃんがいて家を空けられない主婦の代わりにオムツを買いに走るなど「何でも屋」に徹し、どんな事でも手伝った。そして初年度に80台を売り上げた。その後年間145台という売り上げ記録を打ち立てるなどトップセールスとして活躍。しかしその後身体を壊してしまった。1987年健康を取り戻して、BMW東京事業部に入社。林の経営哲学はものを売るのは人間関係であり、何よりもコミュニケーションが大事だと云うことで

ある。セールス自身が楽しんでないと顧客が楽しんで買えない。だからセールスには顧客との出会いを楽しもうと話す。

「限られた時間で、お客様に楽しんでいただき、よい気分でご帰っていただけるように全力でやろう。」と営業所を訪れては社員に話す。売っている本人が楽しみ、売るだけでなく顧客の人間性に関心を持つことが大切だと説く。

その手腕を見込まれ、99年にフォルクスワーゲン東京の今度は社長という役職にヘッドハンティングされる。初めての社長業に戸惑うことも多かったが、果敢にチャレンジし財務も一から勉強した。しかし「相手に対する最高のおもてなしをする」と云う林の哲学は一貫した。 - 後略 -

この記事を読んでいて、どこかロータリーの考え方と一致するところがあると感じました。「もてなしの心で貫く再生」ダイエーは今まで店舗、商品、資本を数の論理で優先してきたが、彼女がトップになれば個を見つめる「人」中心の企業になるだろう。モチベーションが上がればきっと成果が出ると思われる。

今日はダイエーの会長兼最高経営責任者の林文子さんの記事を中心に参考になればと話をさせて頂きました。

幹事報告 松葉 隆夫君

- 2007年規定審議会立法案提案についてガバナー事務所より届いています。
- ロータリーの友、英語版の予約受付の案内がロータリーの友事務所より届いています。
- 富士山エコピクニックに関する最新のお知らせが静岡第5分区ガバナー補佐より届いています。(参加費各クラブ2,000円・集合場所静岡駅南口東海軒会館前を予定)

榛南ロータリークラブ笠原会長
ご挨拶をいただきました



出席報告 後藤 功君

本日のホームクラブ 出席者	前回の補正出席者
26 / 41 63.41%	29 / 41 70.73%

- (1)欠席者(事前連絡とメイクアップをどうぞ)
○青島彰君 ○石垣君 ○小西君 ○杉浦君
○杉山君 ○成瀬君 ○村松宏君 ○山田君
○宮川君 浅川君 板倉君 鈴木舜君 仲田晃君
村松英君 望月志君

- (2)メイクアップ者
竹田 勲君(藤枝南)

ビジター

- 笠原 恒彦君(榛南) 河村 武君(榛南)
飯田 敏之君(藤枝南) 渡邊 芳隆君(藤枝南)

スマイルBOX 後藤 功君

- 女房の誕生日(7/30)忘れていた。これ迄きたのも女房のおかげです。 飯塚 秀彦君

スマイル累計額 78,000円

四大奉仕委員長基本方針・事業計画発表

クラブ奉仕委員長 桜井 富郎君

<基本方針>

ロータリーの原点を良く見直して会員が親しく話し合い明るく楽しい例会を作るため全員が協力し助け合い努力して目標が達成できるようにしていきたい。



小委員会委員長基本方針・事業計画発表

会場運営委員長 松葉 義之君

出席率の向上は最優先の課題と捉えております。

そのためにより良い例会のあり方を委員間で良く話し合っ

て活動を進めて行きます。ビジターの方に気持ちよ



く過ぎて頂けるよう心遣いをします。また

1. 席指定の例会を月1回程度実施する
2. 卓話中、報告等発言中の私語を極力抑える
3. 例会時は禁煙とする

また会場の設営等は本年も小杉苑に委託します。
会員の皆様のご協力よろしくお願いいたします。

プログラム委員長

仲田 廣志君

○皆様にとって有意義な例会となるようプログラム委員会として努力していきたい。

○基本的には、年間プログラム計画に添って進めていきたい。

○皆様の御要望があれば、その都度臨機応変に対応していきたい。

○外部卓話時には、極力中途退席は避けていただきたい。少ない人数での聴講は、卓話者に失礼。



クラブ会報委員長

岩崎 四郎君

<基本方針>

クラブ活動を正確に伝え、会員に親しまれる会報に努める。
経費節減に努める。

月別に担当者を決め、責任ある編集活動を推進する。



ロータリー情報委員長

柳原 寿男君

ロータリー情報は、ロータリーに関する知識あるいはルールを意味しており、これらを会員の皆様に提供することが任務です。

渡辺副委員長、松葉義之委員の3名で構成されますが、私の任期が3年、渡辺君が2年、松葉君



が1年となっております。

例会時に時宜を得た情報の提供をさせていただきます。

広報雑誌委員長

栗原 毅君

<基本方針>

当委員会の広報活動は、ロータリーの歴史、綱領及び規模を一般に知ってもらうための宣伝方法を

考察し、且実施する事にある。又、「ロータリーの友」を通じて、ロータリー精神の認識を高めると共に奉仕活動実践者の拡大を図る。

毎月の活動はロータリーの友の内容に付いて例会で紹介する。



保健委員長

板倉 甫能君

<基本方針>

会員の皆様の心身の健康維持について、スピーチをさせていただけたらと思います。

環境保全副委員長

前島 章男君

<基本方針>

環境保全は世界的問題であって現在地球規模で話題になっているが、環境破壊は特定の地域から始まると考えられます。

排ガス、廃棄物の流出、工場等による大気や水の汚染等がその原因ですが、我々としては、まず、この地域社会の環境改善に目を向ける事を考え、小さな事からでもよりよい環境をつくるような行動をしていきたい。



新世代委員長

竹田 勲君

1. 基本方針

・地域の青少年活動を積極的に支援し、青少年の健全育成に寄与する。



・インターアクト委員会と協力し、青少年の健全育成に寄与する。

・青少年スポーツ大会に協賛、ロータリーへの理解を深める。

・ガバナー会よりの協力要請の「青少年育成小委員会」の活動にも力を注ぐ。

2. 要望・その他

青少年育成小委員会活動はロータリアン個々で活動できると思う。学校教育委員会と協議して進めて下さい。

・講師をする ・職場体験生徒の受け入れ等

インターアクト委員長 飯塚 秀彦君

<基本方針>

インターアクトクラブの存在意義等を啓蒙し、又藤枝順心高校インターアクトクラブの活動内容を一般会員に広く周知し、理解を深める。その一環として、前期と後期の2回、一般会員に呼びかけ、順心高校のインターアクトクラブ例会へ出席する。

ロータリー財団委員長 渡辺 篤司君

<基本方針>

「ロータリー財団」の使命は、世界各国で人道的、教育的プログラムを実践するための、資金補助を支援し、世界の人々が理解と友好を深める事にあります。



米山記念奨学会委員長 村松 宏一君

<基本方針>

ロータリー米山記念奨学会の果たしている事業が、日本に在住している外国人留学生に国際理解と親善を深めるのに大いに役立っている事を会員に周知させる。

パスト会長卓話 柳原 寿男君

『「友」にお世話になって』

会長の任期が終って3週間、ほっとしながらも尚、直前会長としての責務の厳しさを感じている

昨今です。

毎週の例会での会長挨拶には、歴代会長のどなたも悩まれた事でしょう。その時折のイベントや事件、自分の仕事や趣味にかかわることなど中身はいろいろあります。幸いロータリーには毎月「・・・月間」があつて、それに関連する話のできる月1回は助かりますが、ねたの見つからない週は苦労しました。そんな時は「ロータリーの友」に頼るしかありません。

R I 細則には、ロータリアンであればロータリーの雑誌を買って読まなければならない「購読義務」もありますが、そんな堅苦しいことでなく読んでいただきたいと思います。投書の「言いたい聞きたい」欄は、ロータリーに対する意見や問題提起の点で中々興味深い内容です。以下幾つか拾ってみました。

(「ロータリーの友」は素晴らしい)

西条 R C 土肥ナガ子さん(夫君はパストガバナー)は「友」の愛読者で、いつも主人より先に全部読んでいます。週刊誌と違ってとても参考になります。(寄附より奉仕を)

毎年同じ団体に同じように寄附を続けるマネリズム、義理的に会議に全員登録する習慣、ロータリーは寄附団体でなく、頭と体を働かす奉仕団体であるべきと考える・・・

(ロータリーの徽章)

京都洛中 R C の小西博さんは、狂牛病対策に見られた某企業の偽装牛肉事件で、その関係企業の役員にロータリアンがいないか調べ、いなかったことを知ってほっとした・・・。

(ロータリーの存在理由)

朝霧 R C の宮内邦雄氏は、歴代 R I 会長は会員増強と寄附の増大ばかりを唱えている。このままでは他の社会奉仕、親睦団体とどう違うのかと疑問を投げ、外部からロータリーを評価し、入会希望者が現れるようなクラブ作りをしたいと述べている。

(ロータリアンの特権と命)

秋田東 R C 奈良洋さんは、ロータリアンはどこの

例会にも出席できる「特権」を持つ事を強調し、フランス・モンパルナスRC例会に出席した方の体験談として、異業種の方々が、各々の立場で意見を戦わせており、これが「一業種一人」のルールの原点であろうと結んでいた。フランスまで出かけてメイキャップをして、尚、丁丁発止の意見交換を理解できる方も居るんだなと感心したのは私。

(ひんしゆくをかう服装でなければ差し支えなし)

鎌倉中央RC都筑健一氏は、例会出席の服装についていろいろと調べ、意見を交換して、その結果、ひんしゆくを買う服装でなければ差し支えなしの申し合わせを行った。服装のために出席を断念することがないように、気軽に出席されたいと述べている。

(第三例会は仕事着で出席)

深谷RC正田秀雄氏によれば、第三例会は各事務所のユニホーム姿で出席してよいことになり、会長自ら作業服で出席した。仕事着の中にはハッピー姿、白衣のドクターもあって、ユニークな例会となった。初めはちょっと戸惑いがあったが、活気に満ちてよいものである。夜間例会ではユカタ姿に草履ばき、アロハ姿などにぎやかで楽しいと書かれている。以上は「言いたい聞きたい」欄からの抜粋ですが、「友愛の広場」「卓話の泉」欄にも興味深い内容のものが満載されています。今年の「ロータリーの友」だけでなく、昨年、一昨年の本の縦書きのページをお開き下さい。せめて目次だけでも結構です。目を通されると、必ず為になる文に出会うでしょう。

(担当/岩崎)